



第1128号  
2009年6月21日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

▽東京聖三一教会「祈り、そして平和のために」パート10 6月28日(日)14時。話||藤崎陸安(多磨全生園在住)全国ハンセン病療養所入所者協議会本部中央執行委員)、「生きる力を奪われようとも」。演奏||フルート、ギター、聖歌隊など。入場無料。照会||Tel 03(3421)3646。

▽立教女学院聖マーガレット礼拝堂唱詠晩禱||G・F・ヘンデル没後250年記念|| 7月5日(日)16時。説教||中村邦介司祭。ゲスト||オルガニスト||菅哲也、指揮||オルガン||岩崎真実子、同院高校・同礼拝堂各聖歌隊などの奉唱。聖公会の伝統的な夕べの音楽礼拝。参加歓迎。照会||Tel 03(5370)3038。

▽広島で平和礼拝、中高生緊

毎主日、草花が違う姿を見せてくれる教会への道が何より安らぐ時。神愛教会との関わりは、職場の同僚だった聖公会信徒のM氏と、その紹介で訪れるようになった多磨全生園のMさんとの出会い、偶然(?)が重なった出来事: まるでドラマの筋書きのようなかたちで始まりました。

『どうぞ、いつでもまた、おいでください: 本当に: いつでも:』、丁寧な言葉の女性。性は静かに、柔らかに私を見つめていました。牧師?女性。壊れかけた心が久しぶりに得た温もり:。その後参加するようになった聖餐式は、夫々にパンと杯を分けてくださる「一人ひとり」が尊重されたかたちで、求めていた自分の居場所がここで得られると思えました。

《み手のなかで》

私が出たものの尊さ

『末っ子は親と過す年月が短くて哀れ想だ』と可愛がつてくれた父が、5月に逝きました。軍人だった父の「生きかた」から得たものは、平和憲法を守り戦争は二度としない、人を傷つけない:一寸の虫にも五分の魂。歌は大好きでも軍歌は歌わなかった父が『サイパン島に行き、戦友と部下に謝りたかった:』と、90を過ぎるまで抱えてきた苦悩と哀しみ。天知る地知る:悪事はない、必ず誰か見ているものだから。

父が昔よく口ずさんだ♪フランチェスカの鐘の音が♪:。今年60歳になる私が、3年前の洗礼聖信の折にいただいた新しい名は「フランセス」。イタリア語ではフランチェスカ:。大切なもの:。主に感謝します。

(神愛教会信徒)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

今週・来週の予定  
6月21日~7月4日

- 21(日) 聖霊降臨後第3主日  
主教巡回  
大森聖アグネス教会  
外濠G講演会  
(聖バルナバ)  
教会音楽祭  
(東京カテドラル)
- 22(月) 教役者研修会(~24)  
(箱根スコレプラザ)
- 23(火) 銀座朝拝会
- 25(木) 信仰と生活委員会  
月島等将来計画準備室
- 28(日) 聖霊降臨後第4主日  
主教巡回  
阿佐谷聖ペテロ教会
- 7月  
2(木) 下町G牧師協議会  
(聖ルカ)
- 3(金) 事務所職員会議

急募集 神戸教区主催《広島平和礼拝》は8月5日(水)・6日(木)平和公園その他で行われ、青少年を中心とした平和行進、原爆投下時刻に合わせた聖餐式なども。東京教区正義と平和協議会運営委員会では前日4日から2泊の日程で呼び掛け。参加費援助あり。照会先||聖十字教会須賀義和司祭・引率者、Tel 03(3422)1037。

◆としえの平安

5月23日	岩崎	一(72)
5月23日	八巻	順子(92)
5月24日	今井	輝道(68)
5月29日	須賀	虎雄(95)
		聖アンデレ
		聖テモテ
		目白
		聖十字

## 常置委員会報告 (6月10日)

\*八王子幼稚園園舎・牧師館建て替え工事に伴う解体・施工業者選定に至る経過報告(幼稚園関係3教役者参席)を承認、建築契約手続推進につき協議。

\*諸委員・信徒奉事者認可、執事3師の管区司祭試験(9月)申請書提出、主日礼拝奉仕緊急協働シフト、北沢住宅一部補修工事の施工、教区財務諸表等の諸報告(主教・主教チャプレン・主事・主事補)を承認。

\*宣教150周年記念礼拝への教区代表参加者4人の選考。

\*その他。

## 正義と平和協議会運営

委員会報告 (6月8日)

\*新規入会要請のあった団体の入会承認。

\*広島平和礼拝・平和行進(8

月5日)6日)神戸教区同実行委員会主催)への参加者(教役者・青少年各1名)派遣選考につき協議(須賀議長参加)。中高生に向け別途、参加を呼び掛ける。

\*管区・正義と平和担当者会出席、その他の議長報告。

\*公開講演会・協議会開催(7月11日・土・14時、16時)聖アンデレ教会、教区会館)に向けて案内書発送、役割分担の準備。議案検討。講師・本田哲郎神父、演題「愛することより大切にすることを選びたい」。

\*平和メッセージの発刊企画(7月26日発行予定)。

\*浅草給食活動の現況報告。

\*その他。

《今、この教会では…》

## 聖マーガレット教会

当教会でも信徒の高齢化が進み、若い人たちの参加を求めている。でも、働き盛りで、子育てのため自由がきかず教会から遠ざかっているのが若い人の現状だ。日曜学校をきっかけに教会にいろんな年の子どもたちが一つ屋根の下でまるで兄弟のように遊んでいる。すると私たちは教会に自由がきき、教会の活動に参加が可能となる。若い行動力は教会を明るく照らし活気づける。日曜学校は子どもたちの礼拝の場だが、その親たちの若い力を発揮できる場でもある。子どもたちの声も聞こえ、若い人が集まる教会であり続けたい。(本多健二)

## 【クローズアップ】18

お気軽なれど深い味わい

ベストリーツアーの恵み

昨年引き続き2回目となる「ベストリーツアー」、今回は浅草聖ヨハネ、聖ルカ、月島の下町3教会訪問に「月島もんじゃ」のオプションを加え、5月16日(土)に行われました。総勢50名程の参加者と、温かい交わりの中で多くの恵みを共にしたひとときでした。

このツアーは、教区のオルターギルド研修会の一環で企画したものです。奉仕の現場である各教会のベストリー(仕度部屋)を拝見し、悩みやアイデアなどを分かち合えれば、との意図がありました。しかし「どのタイムミングでも出入り自由」とい

う気軽さ、また若干ハードながらもお得感の高い?内容ゆえか、オルターギルド以外の方々も多数ご参加くださり、嬉しい広がりを感じています。実際、ベストリーのみならず建物の隅々まで拝見でき、牧師様や信徒さんから様々なエピソードなども伺えて、お馴染みの教会と新たに出会えるような喜びもあるのではないかと思います。

与えられている器や状況は、教会毎に当然異なります。しかし、たとえ小さなスペースでも使い勝手よく整理されていたり、信徒の方が丁寧に刺繍を施した祭服などが大切に用いられている様子を見ると、どれだけ聖具や祭服・空間が備わっているかといった物質的なことに

は依らない、教会それぞれの豊かさがあることに気づかされます。建物や道具とは、そこに生きる「人」の思いによって生かされるものであることを実感します。また、「同じ地に立つ」というシンプルな行為を通して、教会がその地で抱え、担っているものの重みなどを、不思議と肌で感じられるような気もするのです。

参加者の熱意と訪問教会のホスピタリティに支えられ、主催者側の意図を遙かに超える恵みを与えられた「ベストリーツアー」、主日とは違う教会の味わいをじっくりと楽しめるよい機会です。次回、ぜひカメラ片手にご参加ください!

教区礼拝音楽委員

高橋 牧